

メータオ・クリニック支援の会（JAM） 会報メール 臨時号

[2021年5月発行]

NPO法人メータオ・クリニック支援の会（JAM）支援者の皆様

いつもご支援いただき、誠にありがとうございます。
JAMより、臨時で会報をお送りします。

今後ともどうぞよろしく願いいたします。

東ミャンマー緊急支援に関する4月末現在のご報告

2021年5月3日

【メソト（現地派遣員）：有高 奈々絵】

ミャンマーでクーデターが起きてから早3か月が経ちました。

カレン州では国軍とカレン族武装勢力との間で武力の応酬が続き、4月27日に起きた国軍基地の制圧に対する報復として同日から空爆が再開されました。4月下旬に国境のサルウィン川沿いのタイ側に2500人、カレン州側に5000人、カレン州内のジャングルに1万人以上が隠れていると推定されていましたが、空爆後の3日間だけで3000人以上がタイ側に逃れ、さらに多数が後に続く準備をしていると報道されました。

タイ政府は彼らの一時的滞在を認めています、そのエリアにカレン系支援団体が入ることを許可していないようで、避難民の状況は不明です。ジャングル内ではメータオ・クリニックのパートナー医療団体が臨時診療所や移動診療所を設立し、外傷処置や分娩介助を始めている一方、別の避難地域では激しい雨により洪水が起き食料やテントが流されたという報道もありました。

何もかもが不足しているはずですが、4月中旬にサルウィン川で輸送船やタイ国境警察の船がミャンマー国軍に銃撃されるという事件があり、以後物資輸送の頻度は減少しています。

JAMは、4月4日皆さまに東ミャンマー緊急支援のお願いをし、4月末までに65名の方から1,189,524円のご寄付をいただきました。ここに厚く御礼申し上げます。



現地のニーズを検討した結果、第一弾の72万円とともにメソトのミャンマーコミュニティを通じて、医薬品、食料、一時的シェルター、ビニールシート、レインコート、トランシーバーの支援に充てさせていただきます。

避難民へのアプローチは困難ではありますが、メソトからの物資の運び出しは現在も続けられており、皆様のご寄付は必ず彼らのために役立ちます。ミャンマーの危機的状況はさらに長期化が予想されるため、JAMは5月以降も引き続き第三弾の支援を予定しております。国境の両側で苦難に直面している人々のために、息の長いご支援のほど宜しくお願い申し上げます。



写真：空爆後の避難の様子 (Karen Woman Organization の Facebook より)



写真：歩けない人は、担架で運びます。
(Karen Woman Organization の Facebook より)



写真：川沿いに張られたテント

(Karen Woman Organization の Facebook より)



写真：ジャングルの臨時診療所。壁はなくても酸素ボンベはあります。

(撮影：メータオ・クリニックのパートナー医療団体)



写真：どのような状況でも赤ちゃんは誕生します。

(撮影：メータオ・クリニックのパートナー医療団体)



NPO法人メータオ・クリニック支援の会
Japan Association for Mae Tao Clinic (JAM)

日本事務局宛て Eメール	support@japanmaetao.org
JAMウェブサイト	www.japanmaetao.org
Facebook	Japan Association for Mae Tao Clinic (JAM) で検索して下さい。 https://www.facebook.com/JapanAssociationforMaeTaoClinic/
Instagram	https://www.instagram.com/japan_association_maetaoclinic/
Twitter	https://twitter.com/japanmaetao

※掲載されている全ての内容、文章の無断転載を禁止します。

